



特集 II ▶ 南米原産の機能性素材 3

● Trends in the Market for Functional Materials of South America

南米素材の市場動向

編集部

南米は日本と全く違う植生を有しており、現地では長年薬用に用いられていた植物も多いが、世界的に知られて利用が進んできたのは近年のこと。最近は機能性研究が進んできたこともあり、米国市場などで受け入れられ、注目度は世界的に高まっている。

日本では、1990年代にマカが“天然のバイアグラ”として紹介されたことで一大マカブームが到来し、南米原産の機能性素材として一躍注目を浴びることになった。そのためもありマカの認知度は極めて高く、活力系素材としてサプリメントだけでなく一般食品にも応用され市場を形成してきている。同時にキヤツクローナなどの素材の国内への紹介も始まり、日本市場でも本格的に南米素材が流通するようになった。

フルーツ類ではアセロラやカムカムなどが天然のビタミンC素材として紹介され、今ではアサイーやマキベリーなどのスーパーフルーツも注目されている。

現在知られている南米産の機能性

素材は表1のとおり。様々な機能性を有し国内にはない新奇性があるが、マカやアセロラを除く他の多くの素材については、その名前や機能性に関する認知度、製品への応用という意味では十分拡がっているとは言い難く、今後の応用拡大が期待されている。また、マカに関しても男性向けというイメージがついてしまっているが、現地では女性が利用しており、更年期症状改善や女性ホルモンバランス調整などという女性向けの機能性データも確認されている。マカは今後、男性オナニーというイメージを払拭し、女性向け市場の開拓が進められるかどうかが課題と言える。

次に、日本市場で南米素材を展開する各社についてみていく。

マカを初めて日本に輸入・販売したパイオニア

南米素材を20年ほど前から取り扱っているラティーナでは、1996年のキヤツクローナの紹介を皮切りに、翌年にはマ

カの販売を開始、現在では、マカを中心にキヤツクローナ、マキベリー、チア、チャンカピエドラ(碎石茶)などをラインアップしている。

マカはペルー・ポンボン高原の複数の契約農家の原料を用いたもので、マカ原末と抽出エキスパウダーを揃え、男性の滋養強壮向け、女性の更年期・PMS 対応などの製品で需要を持つ。鈴鹿医療科学大学や東京海洋大学との共同研究により、抗炎症作用をはじめ、抗疲労、抗肥満作用などを確認している。

マカの中でも、表皮が赤い「赤マカ」では前立腺肥大抑制作用が確認されているため前立腺や夜間頻尿症対応のサプリに、表皮が黒い「黒マカ」では動物試験で精子産生量増加、学習能力向上、記憶障害改善作用が確認されているためスポーツ系やエナジードリンクなどで採用されている。

キヤツクローナは、乾燥微粉末とエキス末に加え、免疫系への作用を阻害するTOAを除去し、免疫系に作用するPOA

表1 南米産の主な健康素材

素材	特徴
マカ	ペルー山岳地帯原産のアブラナ科の植物。栄養分が豊富であり、なかでもベンジルグルコシノレートが有効成分のひとつされている。男性機能向上や抗疲労作用、更年期症状改善作用などが確認されている。
キヤツクローナ	ペルー中央アマゾン地域原産のアカネ科カギカラズ属植物。抗炎症作用や免疫力増強作用などが知られている。
ガラナ	アマゾン川流域原産のムクロジ科ガラナ属植物。種子にカフェイン様物質を含み、現地では疲労回復や滋養強壮で使われている。
サチャインチ	アマゾン地域原産のハーブの一種。アマゾングリーンナッツとも呼ばれる。種子からはω3脂肪酸が豊富なオイルがとれる。
ゼラニウムディエルシアナム	アンデス山脈に自生するフウロウソウ科の植物。
紫イペ(タヒボ)	アマゾン川流域に自生。ノウゼンカズラ科タベイア属の植物。内部樹皮にキノン類、フラボノイド、トリテルペン等を含有。
チャンカピエドラ	アマゾンの熱帯雨林に自生するトウダイグサ科植物。チャンカピエドラとは現地語で“石を碎く”という意味。シウ酸カルシウムの結石を溶解する、肝臓の解毒作用を持つといわれている。
ムイラプアマ	アマゾン地域原産。現地では古くから強壮剤として利用してきた。
パフィア	アマゾン人参とも呼ばれているヒュウ科の植物。
チアシード	アメリカ大陸中央部原産のサルジア属植物「チア」の種子。主に中南米で栽培されており、栄養価が高く、ω3や食物繊維が豊富。
ヤーコン	アンデス高原原産のキク科植物。根茎部にはフラクトオリゴ糖が豊富。抗酸化作用、血糖値上昇抑制作用、整腸作用など。
アセロラ	中南米原産のキントラノオ科の植物。果実にはビタミンCが豊富に含まれる。
カムカム	アマゾン川流域原産のフトモモ科植物。100gあたり2,800mgのビタミンCを含んでおり、抗酸化活性の高さが知られている。
アサイー	アマゾン原産のヤシ科植物。栄養価が高く、ポリフェノール、鉄分、食物繊維、カルシウムなどを豊富に含む。
マキベリー	南米バタゴニア地方原産のホルトノキ科植物。先住民族の力の源であったとされており、ビタミン・ミネラル・ポリフェノール(アントシアニン)を豊富に含む。